

記入例

3部提出

第1号様式


法定外公共物占用許可申請書

奈企第 号
令和 年 月 日

(あて先) 奈良市長

申請者 住 所 奈良市法華寺町264番地1
氏 名 奈良市公営企業管理者
池田 修
電 話 (0742)34-5200
給排水課

下記のとおり、法定外公共物の占用を申請します。

法定外公共物の種類	里道
占用場所	奈良市 ○○町○○番地
占用目的	○○邸給水管引込工事のため 管種を記入
占用物件 (構造及び数量)	給水管 H1VP φ ○○ mm L= ○○ m 掘削面積 ○○m × ○○m = ○○m ²
占用期間	許可日 ~ 記 年 入 月 し 日 な 日 間
工事の実施期間及び方法	許可日 ~ 分 秒 刻 ば 記 日 間
その他の事項	住 所 工 事 施 工 者 事 業 者 名 T E L 

添付書類

- (1) 位置図
- (2) 現況写真
- (3) 公図の写し
- (4) 土地登記簿謄本又は、要約書
- (5) 現況平面図及び現況縦横断面図
- (6) 計画平面図
- (7) 構造図及び諸詳細図
- (8) 占用面積求積図
- (9) 利害関係人の同意書
- (10) 行政庁の許認可関係書類
- (11) その他市長が必要と認める書類

第13号様式

法定外公共物占用同意書

令和 年 月 日

奈良市長
奈良市公営企業管理者 あて

(同意者) 利害関係者 (自治会長)

住 所
氏 名
連 絡 先

印

下記の法定外公共物について、占用することに同意します。

1. 法定外公共物の種類 里 道

2. 占 用 場 所 奈良市 ○○町○○番地

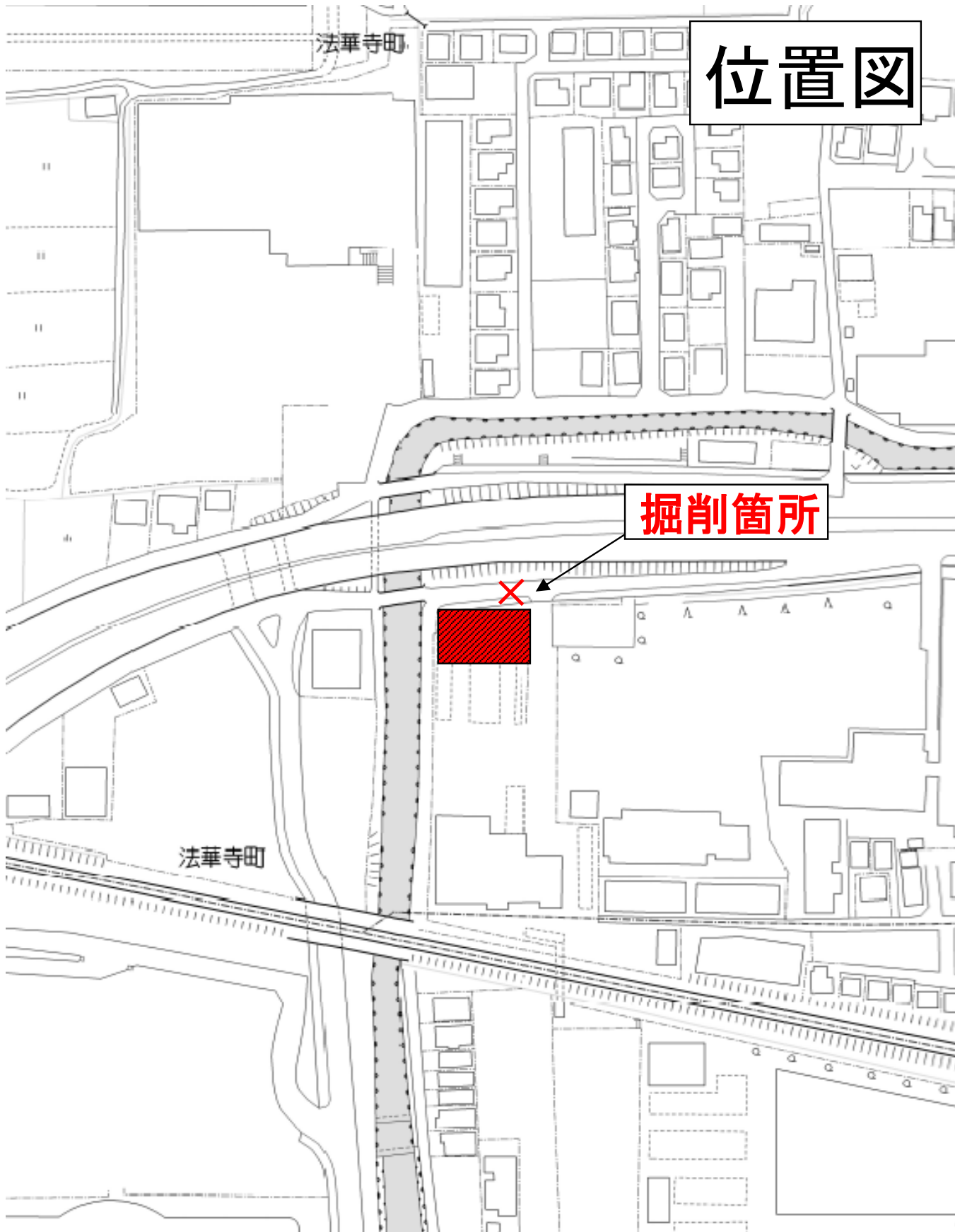
3. 占 用 目 的 ○○邸給水管引込工事の為

管種を記入

4. 占 用 物 件 給水管 HIVP φ ○○ mm

L= ○○ m

位置図



掘削箇所

法華寺町

法華寺町

付 近 見 取 図 (車両通行止めの場合迂回路を明記)

交通規制・全面通行止・**片側通行**・一方通行・歩道規制

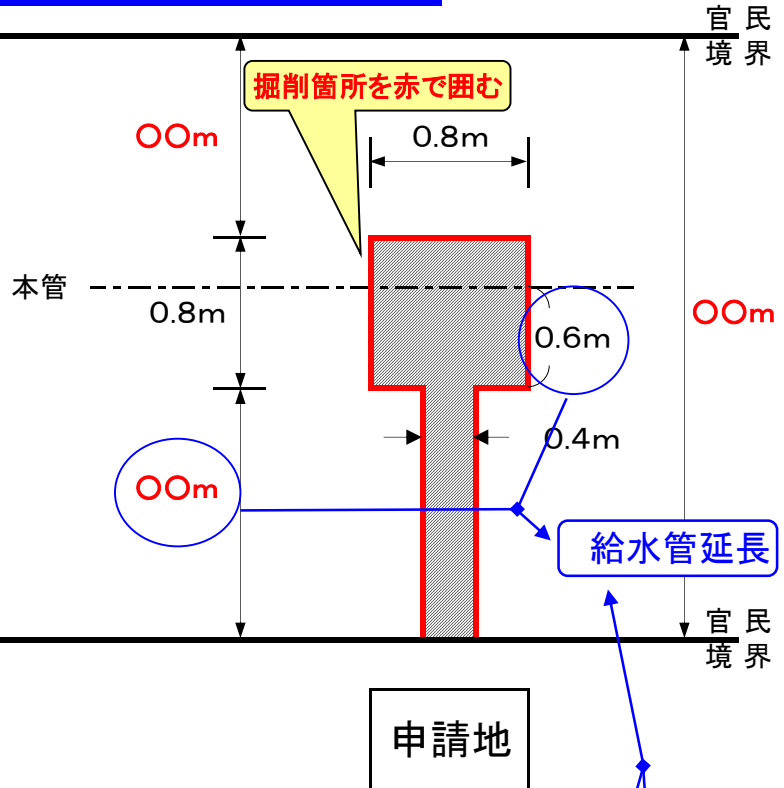
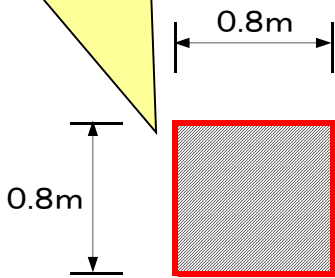
○で囲む

別紙住宅地図のとおり

サドル分水栓の場合

平 面 図

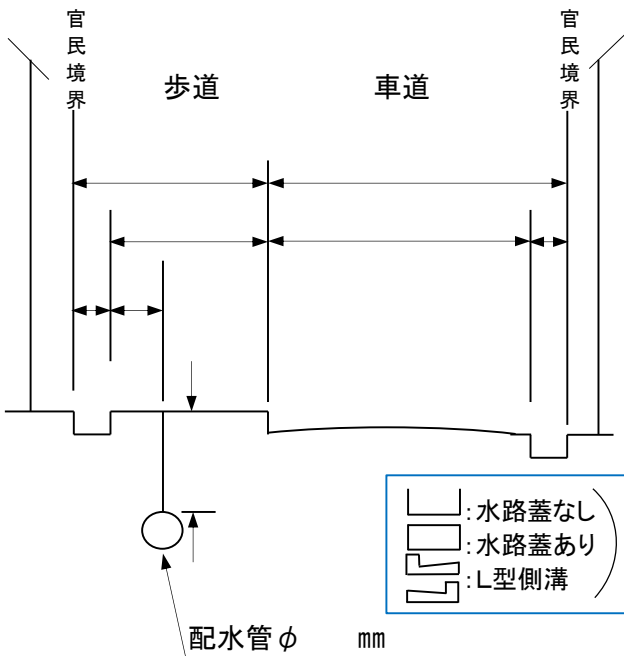
分岐と離れた場所で撤去がある場合は寸法を記入し、赤で囲む



申請地

申請地

断 面 図



配水管の土被りを記入する

□ : 水路蓋なし
 □ : 水路蓋あり
 □ : L型側溝
 延長0.5mを基本とする

配水管 φ mm

配水管 φ 〇〇 mm

申請地を記入する

申請地

人 車 道

〇〇m

As 〇〇m

0.5m

〇〇m

0.5m

1.0m

HVP φ 〇〇

付近見取図 (車両通行止めの場合迂回路を明記)

交通規制・全面通行止・片側通行・一方通行・歩道規制

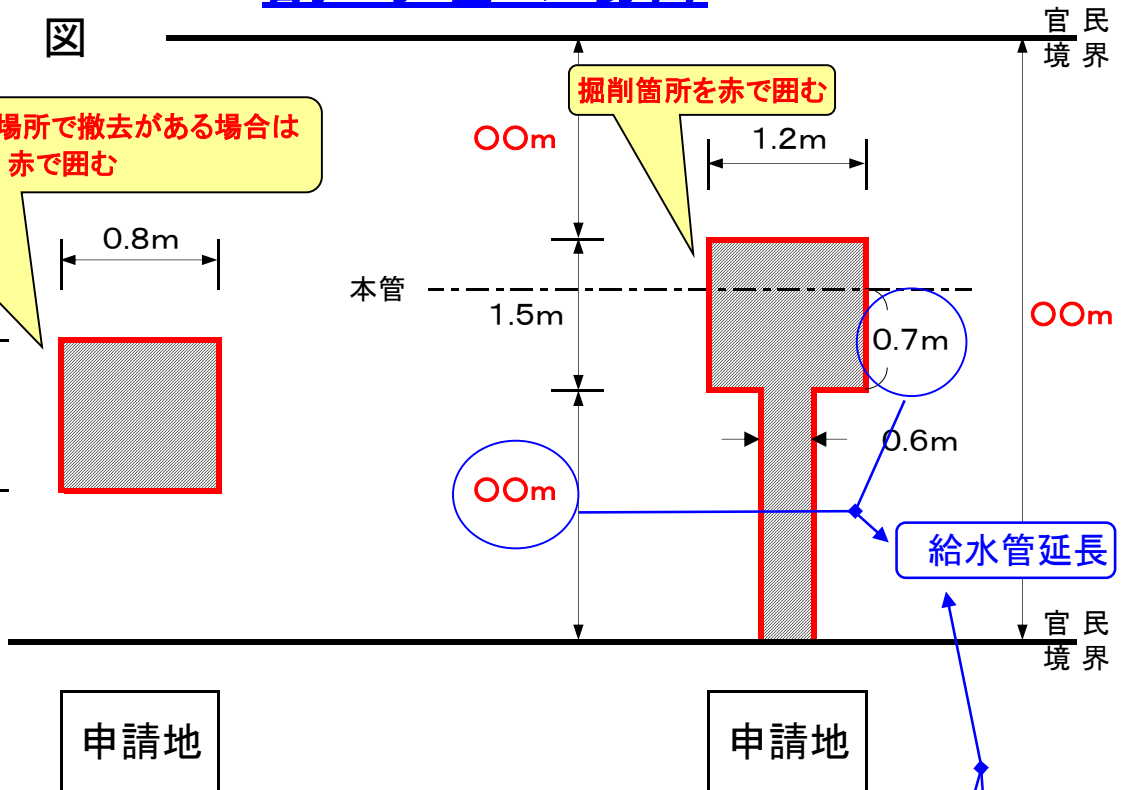
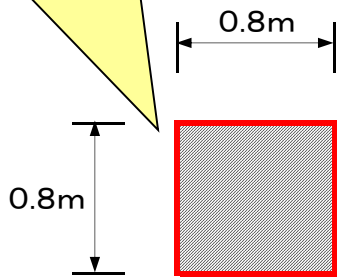
○で囲む

別紙住宅地図のとおり

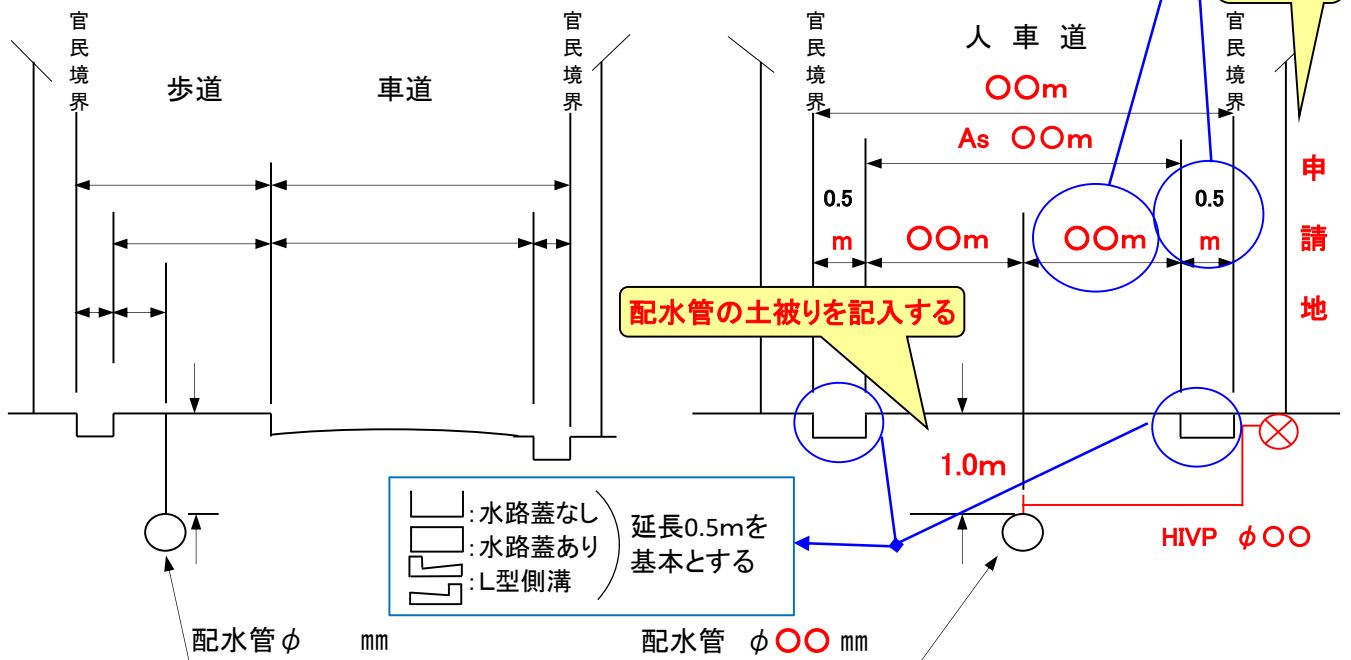
割T字管の場合

平面図

分岐と離れた場所で撤去がある場合は寸法を記入し、赤で囲む



断面図



- : 水路蓋なし
 - : 水路蓋あり
 - : L型側溝
- 延長0.5mを基本とする

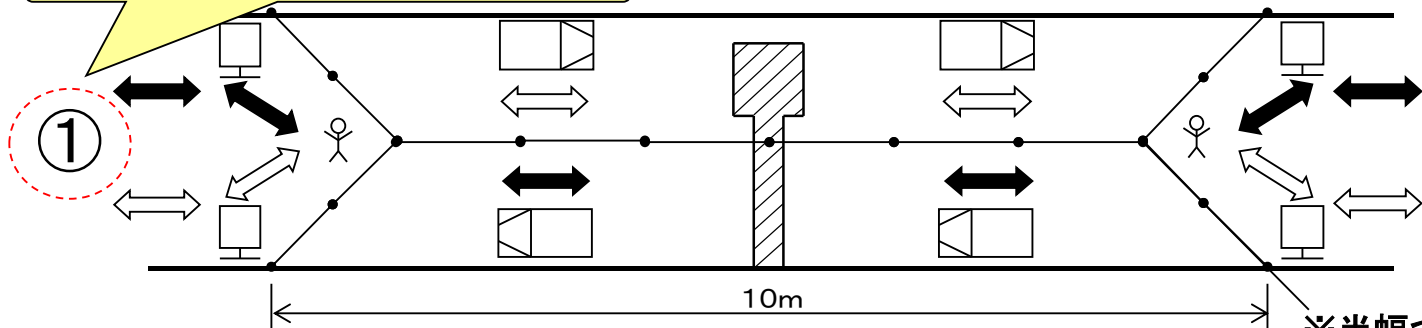
配水管 φ mm

配水管 φ 〇〇 mm

HVP φ 〇〇

道路工事保安施設配置図

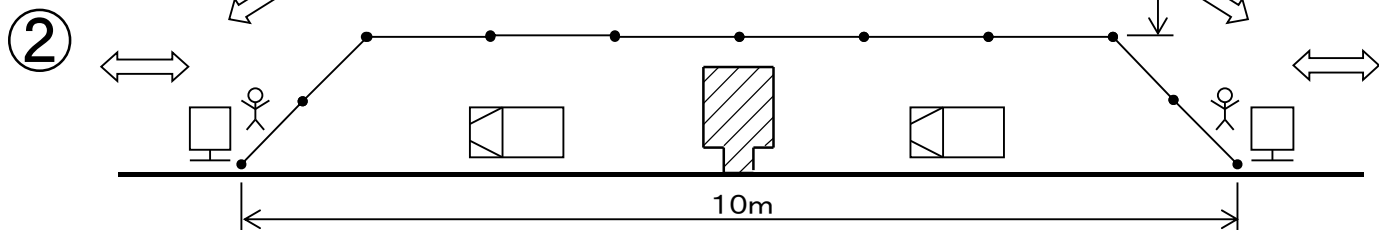
該当する保安施設配置図の番号を○で囲む



※該当する図が無い場合は別途作成すること。

大型車両の場合 片側通行幅2.0m以内は鉄板を使用

※半幅ずつ掘削し、片側交互通行とします。



※車両が通行できる延長を記入

※車両通行時は鉄板を使用し、通行を優先します。

『補足説明』



掘削箇所



工事車両



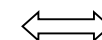
工事看板



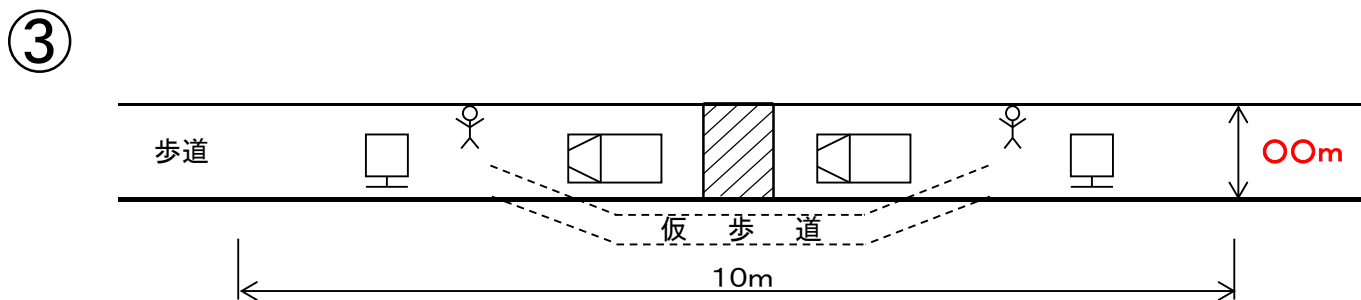
カラーコーン



交通整理員



一般車両



該当する保安施設配置図の番号を○で囲む

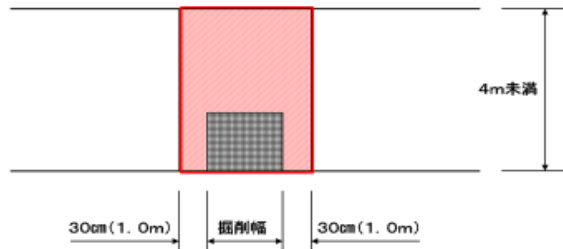
本復旧範囲図

①

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m未満の道路掘削は全て全幅復旧とする。

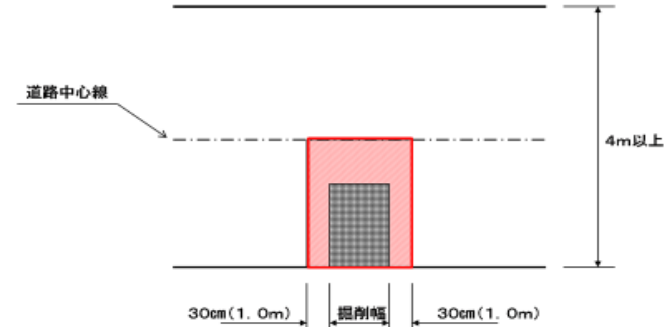


②

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m以上の道路で、掘削が中心線を越えない時は半幅復旧とする。

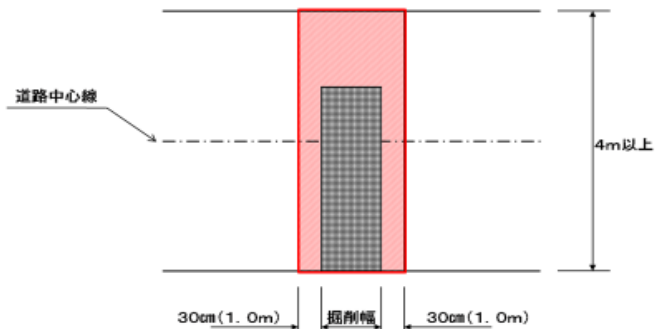


③

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m以上の道路で、掘削が中心線を越えるときは全幅復旧する。

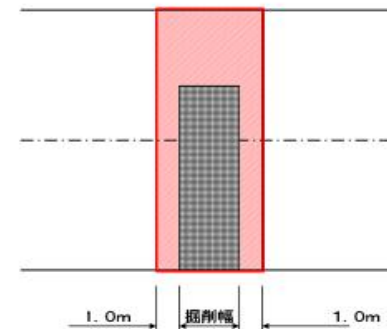


④

路面本復旧について

【市道】 保水性舗装

- 掘削幅+影響幅1.0m(両端)とする。
- すべて全幅復旧する。



※この「本復旧範囲図」に関しては、参考であるため実際の本復旧範囲については、道路管理者の許可条件を遵守してください。